

科目（講座名）	子どもの発達と保育	2単位	必修選択
教科書	子どもの発達と保育（実教出版）	担当教諭	
副教材			

学習の目標

子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

授業内容

- ①一斉授業により、子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識を学ぶ。
- ②実習により各種保育技術を身につける。
- ③保育園実習を通して子どもの発達と保育について総合的に学ぶ。
- ④現代の保育事情についてテーマを決め、発表をする。
- ⑤新型コロナウイルス感染症の状況により授業内容を変更することがある。

学習方法

一斉授業の他、保育に関する実習（離乳食・入浴・児童文化財製作）を通して実践的に学ぶ。
保育園実習を通して子どもの保育について総合的に学ぶ。

評価の観点

関心・意欲・態度	・子どもの身体的・精神的発達や保育に関して、関心を持ち、それらを意欲的に学ぶ姿勢が見られる。
思考・判断	・子どもの発達や保育に関わる幅広い知識を身に付け、子どもの発達、行動、感情、生活などについての理解を深めることができる。子どもを取り巻く問題について推測・考察ができる。
知識・理解	・子どもの発達や保育に関する幅広い知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項が理解できている。
技能・表現	・子どもの発達や保育に関わる事柄について、実習や観察を通じて知識を深めることができ、保育に関する実習において保育技術を身につけ、保育実習等で総合的に保育技術が発揮できる。

評価方法

子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識が習得できたか。
保育技術の基礎が習得できたか。
子どもの発達や子育てに関して興味関心があるか。
児童文化財製作や保育園実習が意欲的に取り組み、実習レポートとして状況報告ができるか。
現代の保育に関する問題点について興味関心を持ち、自ら調べて課題や未来への展望などの意見が発表できるか。などを総合的に評価する。
以上のことを、定期考査、製作作品、レポートを総合的に判断し評価を行う。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	1 2	0. オリエンテーション 1. 子どもの発達の特徴 ① 発達と乳幼児期の意義 ② 発達と保育環境 ③ 児童観と発達観	以下のことを中心に学習する。 ・人間の発達・乳幼児期の重要性について。 ・乳幼児期の保育者とのかかわりの重要性。 ・児童観・発達観が変化していること。	現代の保育に関する問題点について自ら考え、発表にそなえる。
	5	1 4			
	6	1 4			
2	7	1 4	2. 子どもの発達の過程 ① 子どもの発育 ② 子どもの精神発達 ③ 人間関係の発達	・発育の評価方法、乳幼児期の発育の個人差。 ・発達における方向性や順序性の共通性。 ・精神発達の特徴。 ・保育者からの働きかけと環境作りの重要性。 ・「愛着」の重要性と相互作用。 ・人間関係の広がり、自立し社会的な態度。 ・「第一反抗期」と「自我」について。 ・子どもの問題行動と家庭環境との関わり。	保育技術を習得する ・計測 ・だっこ ・おんぶ ・入浴 ・乳幼児との接し方
	9	1 4	3. 子どもの生活 ①生活と養護 ②子どもの遊び ③生活習慣の形成 ④健康管理と事故防止	・乳幼児の食生活…母乳栄養や離乳食。 ・乳幼児の衣服や寝具…身体的特徴との関連。 ・乳幼児の発達と遊び、保育者はたらきかけ。 ・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣、しつけ。 ・日常の健康状態、病気の特徴や定期健康診査、予防接種について。 ・乳幼児の成長段階における事故と原因。 ・子どもにとって望ましい環境とは ・家庭保育と集団保育の特徴や役割。 ・幼稚園と保育所・認定こども園について。 ・リトミックについて ・集団保育の実習を通して、乳幼児の生活や行動などを観察し、適切な関わり方を身につける。	保育実習 ・保育園等での実習 ・リトミック実習 ・離乳食 ・児童文化財製作
	10	1 4			
	11	1 4			
12	1 4				
3	1 2 3	1 6	5. 子どもの福祉 ①子どもの福祉 ②子育て支援	・児童福祉の理念や法律、制度について。 ・児童相談所などの児童福祉機関や施設について。 ・児童を取り巻く環境の変化や子育て支援の現状。 ・子育て支援の課題と展望。	現代の保育に関する問題点についてまとめ、発表する